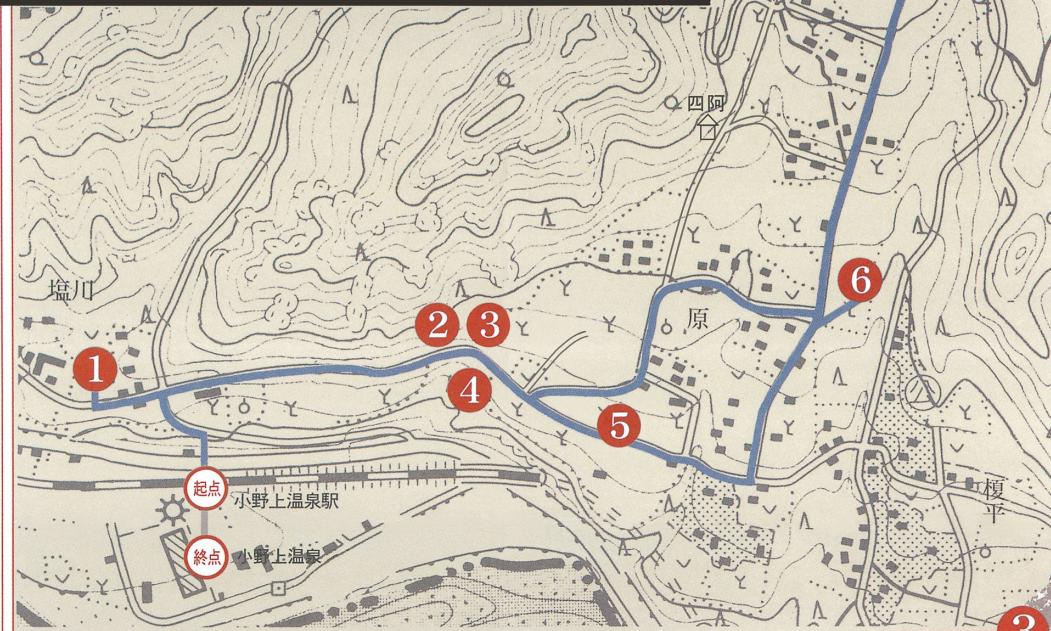


# ・・・上野ノ野仏めぐり GUIDE MAP



柔らかな木漏れ日と  
心地良いそよ風、  
ゆったりとした時の流れの中、  
優しく懐かしい野仏たちを訪ねてみる。  
心があたたかく和んでくるおだやかなひととき。

寛元歳酉四月吉日（1741年）邑中と  
あり  
高さ52cm 幅36cm 厚23cm  
吾妻から本村に入り最初の道祖神で旅人達はこの森でしばしの休憩をした。  
渋川市村上135番地



嘉永二年巳酉四月吉日（1849年）  
高さ300cm 幅27cmの三角柱

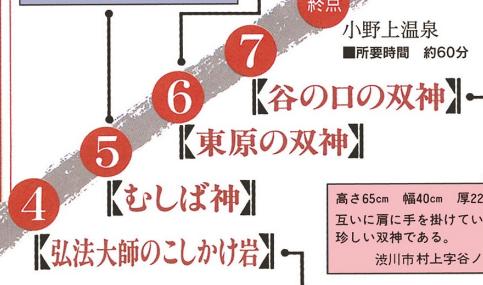
大青面金剛宝塔（普聖・角田無幻の書）を中心に、当所領字飯塚界輔等の筆による  
庚申、青面尊、青面金剛宝塔等小碑群あり、大岩盤を台石とした構えは近郊には珍  
しい。  
<由来> この時代は疫病流行、外国船來航などがあったため諸悪を除くため庚申  
信仰の表出として近村信者の碑身の寄進により地の利を利用して百庚申を造立した。  
渋川市村上525番地

ONO GAMI "NOBOTOKE - MEGURI" GUIDE MAP



高さ90cm 幅75cm 厚33cmの自然石を使用  
酒壺、酒盃をもち、互いに肩に手を掛けている。男神は大きく、女神は小さい。  
渋川市村上1013-1

高さ40cm 幅70cm 厚40cm  
<由来> 一見むし歯の形をしているこの石は、おがらの箸を進んで顔をかけるとむし歯の痛みがとれるといわれ、多くの人が願掛けにおとづれた。近辺から五輪の塔の残片が出土、別名武者髪ともいわれ、中世の武者を葬ったのであろう。  
近くに城廬がある。  
渋川市村上667-1



高さ180cm 幅180cm 奥行160cm  
<由来> 弘法大師がこの岩に腰をかけ、古城台方面の絶景を眺めたといわれている。腰の跡、足の跡がある。弘法大師（空海）伝説は当古憲寺にもありその参道にある。  
渋川市村上615番地の1

宝曆十二閏天午四月吉日（1762年）  
高さ56cm 幅43cm 厚25cm  
男神酒盃、女神酒壺を持つ。  
渋川市村上615番地の1

作間神社参道

起点

小野上温泉駅

1

2

3

4

5

6

7

終点

小野上温泉

■所要時間 約60分

【百庚申】

【古城台の双神】

【作間神社の双神】

【むしば神】

【東原の双神】

【谷の口の双神】

終点

【小野上】◎野仏めぐりスタンプ帳